

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	国語・国語表現Ⅱ	単位数	2単位	履修学年	4年
目標	国語を適切に表現するために、基礎的な語彙の習得・表現能力を養い、伝え合う力を向上させる。国語を通じて思考力及び心情を豊かにする。文章を熟読し、他者の立場に立てる能力を育む。また、日本文化に対する関心を深め、言語を尊重する態度を育てる。				
使用教材	使用教科書 国語表現Ⅱ 改訂版 三省堂				
評価の観点	(関心・意欲・態度)	(話す・聞く)	(書く能力)	(読む能力)	(知識・理解)
	観点・言語文化に対する、意欲を評価する。授業における発問の的確さを評価する。	目的や場面に応じて筋道を立てて話したり聞いたりすることを評価する。	自分の考えをまとめたリ深めたりして、筋道を立てて適切に文章に書くことを評価する。	記述ルールを知り、文章を読んで、的確に要約し、まとめることを評価する。	表現と理解に役立てるため文法のルール、表記、漢字に気を配り、音声まで気を配ることを評価する。
評価方法	定期考査および、各単元ごとの小テストを実施する。また、提出物は原則として得点化し、評価する。				
学期	学習内容	学習のねらい			
1	身近なテーマで書く 「対話」から文章へ 佐佐木信綱顕彰会応募作品の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを考える ・構想メモをつくる ・構成を考える ・『動機メモ』の作成 ・「対話」とその報告→文章の完成と提出 ・小論文を書く目的で情報を収集し、小論文を執筆する。提出された小論文は得点化し、評価する。 ・短歌の作品をつくり、顕彰会に応募する。提出を評価の対象にする。 			
2	取材から発表へ 体験から物語へ 三重県俳句コンテストの応募作品作成	<ul style="list-style-type: none"> ・取材計画を立てる ・取材をしてメモを実際に取る ・考えをまとめ、クラスで発表する。発表を評価の対象とする。 ・物語の題材を決める。 ・構想を練る。 ・執筆する。 ・物語を鑑賞する ・提出された俳句は、提出物として評価し、その後俳句コンテストに応募する。 			
3	「自分」のことを伝える 小論文を書く ―「考え方」を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の何を相手に伝えるかを考える。 ・模擬面接を行う。 ・広い視野にたつて、論じることを心がける。 教材文を利用して自分の考えをまとめる。（原稿用紙800字～1200字）評価の対象とする。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期、定期考査以外に小テストを実施し、単元ごとの理解度をはかりながら授業を進めていく。 文法や音声を自らチェックできるようにする。 				